

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	強風により損壊した住宅部材を運搬中に、走行中のバイクに部材を接触させそうになった。
3. 体験した事例の中心的要素	低気圧に伴う強風により一般住宅のベランダが損壊した。 屋根上に残った部材が、強風によりさらに飛散する恐れがあるため、これを撤去し、地上にいる隊員に渡した。地上の隊員は、長さ約2mのアルミ製の部材を肩に担いで車道を運搬し、向きを変えたところ、現場を通りかかったバイクがすぐそばを走り抜け、この部材をバイクに接触させそうになった。 もし、接触事故を起こしていたら、バイクは転倒し、隊員と運転手の2名が受傷する重大事故になるところであった。
4. 体験した事例の原因・理由	現場付近道路の交通状況に対する注意が不十分であった。 隊長は道路へ監視員を配置していなかった。また、隊員も長物の部材を運搬中に、よく周囲を確認することなく向きを変えるなど、周囲へ及ぼす危険性について認識が不足していた。

### 【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

### 【体験した事例について】

1. 発生日時	平成26年6月4日 午後7時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋外：住居地域内の車道(夜間で周囲は暗く、強風により音を聞き取りにくい状況)
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。 回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	風水害等の災害現場活動中期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：落下、飛散危険物の排除活動
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[29]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[8]年、階級[消防副士長] 同様の活動[数年に1度程度]、任務[隊員]
○当事者B	年齢[46]歳、勤続年数[28]年、現場経験年数[25]年、階級[消防司令補] 同様の活動[数年に1度程度]、任務[車長]
○当事者C	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ] 同様の活動[ ], 任務[ ]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	B	住宅の損壊したベランダの部材を撤去した	
経過2	B	地上のAに撤去した部材を渡した	
経過3	A	受け取った部材を肩に担ぎ、車道を運搬した	
経過4	A	向きを変えた際、走行中のバイクに部材を接触させそうになった	
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
- ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

強風により、周囲の音が聞こえにくい状況であった。
--------------------------

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

